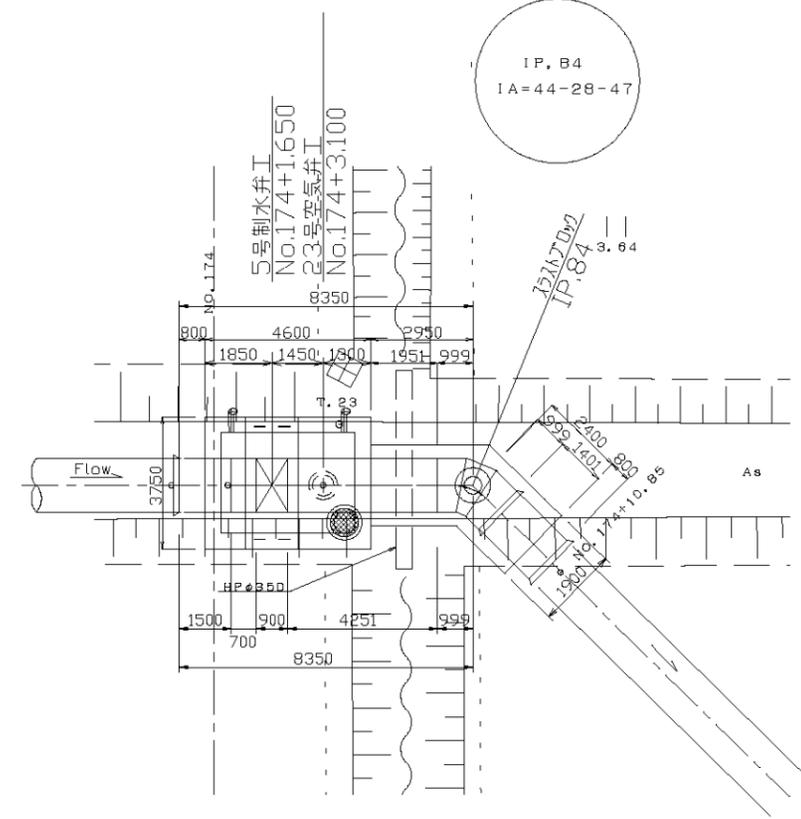


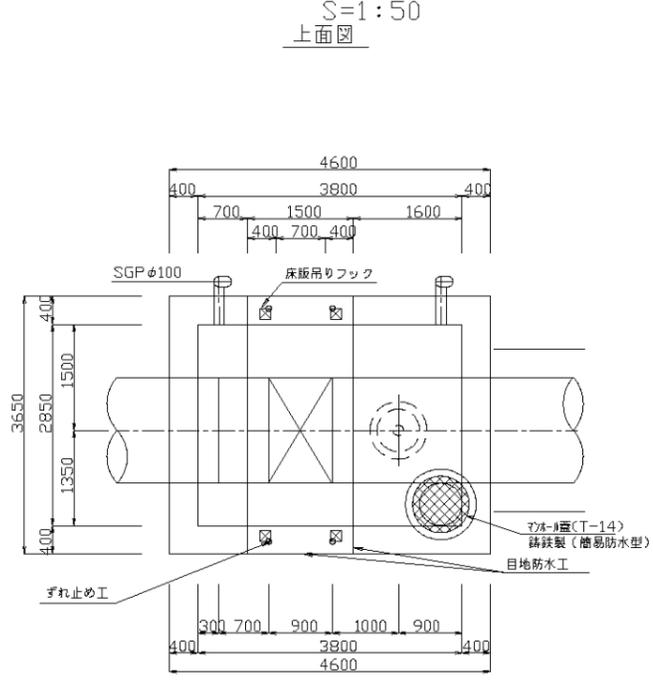
項目	管														
	管径	管長	管中心高	管底高	管頂高	管底高	管頂高	管径	管長	管中心高	管底高	管頂高			
管径	FRPMφ1500	L=892.573m						FRPMφ1500mm	SPφ1500mm	FRPMφ1500mm	SPφ1500mm	FRPMφ1500mm			
管長	2.37	2.39	1.61	1.61	1.60	1.97	2.68	2.33	2.22	1.64	1.68	1.60	1.67		
管中心高	L=122.350m h=0.100m i=-0.0008113 (1/1224)	L=33.644m h=0.010m i=+0.0002972(1/3364)	1.166	1.163	1.160	1.161	1.161	1.165	1.189	1.700	1.189	1.189	1.189	1.189	
管底高	4.32	4.32	4.33	3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	3.55	4.44	4.44	4.44	4.44	4.44	
管頂高	4.326	4.337	4.337	4.337	4.337	4.337	4.337	4.337	4.337	4.44	4.44	4.44	4.44	4.44	
管底高	8250.614	8253.714	8257.964	8301.164	8301.164	8301.164	8301.164	8314.114	8329.114	8331.608	8336.614	8340.614	8340.614	8340.614	
管頂高	50.000	4.250	3.200	3.200	3.200	3.200	3.200	12.650	15.000	2.494	5.006	4.000	50.000	50.000	
管底高	50.000	4.250	3.200	3.200	3.200	3.200	3.200	12.650	15.000	2.494	5.006	4.000	50.000	50.000	
管頂高	50.000	4.250	3.200	3.200	3.200	3.200	3.200	12.650	15.000	2.494	5.006	4.000	50.000	50.000	
管底高	No.174	IP.84	+10.85	+23.50	+38.50	IP.85	+46.00	No.175	No.176	No.177	No.178	IP.86	No.179	IP.87	No.180
管頂高	IP.84 IA=15-00-47				IP.85 IA=21-22-53							IP.86 IA=09-46-40		IP.87 IA=15-00-47	IP.87 IA=15-00-47

施設名	東部幹線用水路(0312100-1100-03)
図面名	縦断平面図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	A1 H=1:500 A2 H=1:700 V=1:100 V=1:141 図面番号 6-32/106
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

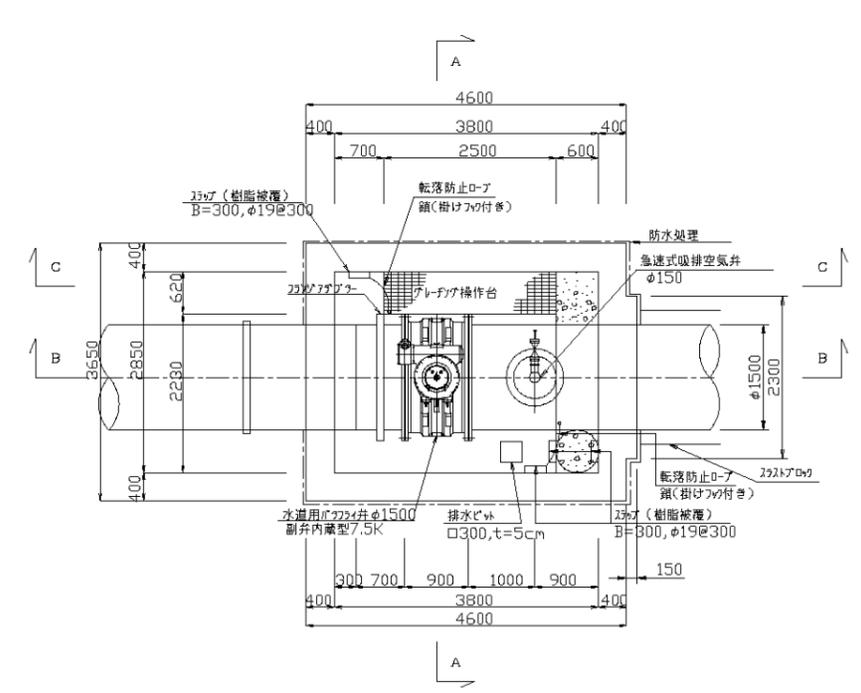
平面計画図  
S=1:100



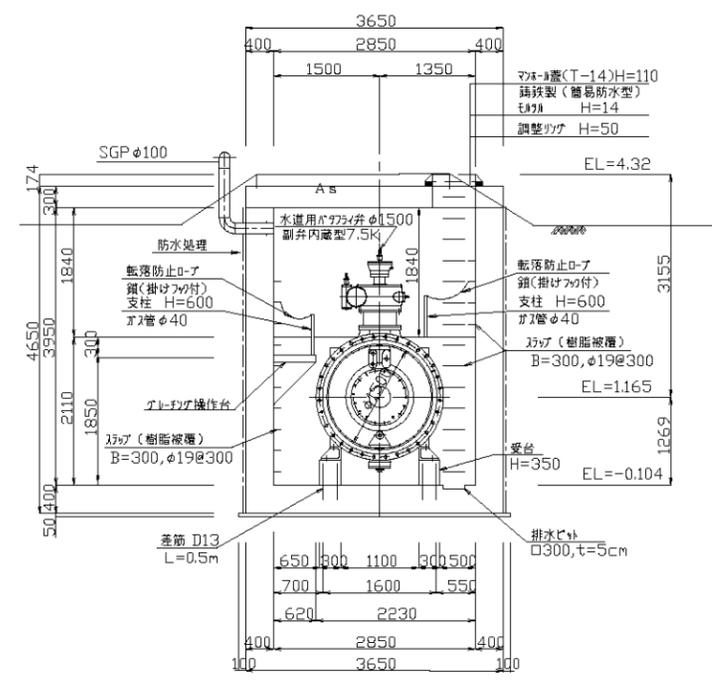
5号制水弁工構造図  
S=1:50  
上面図



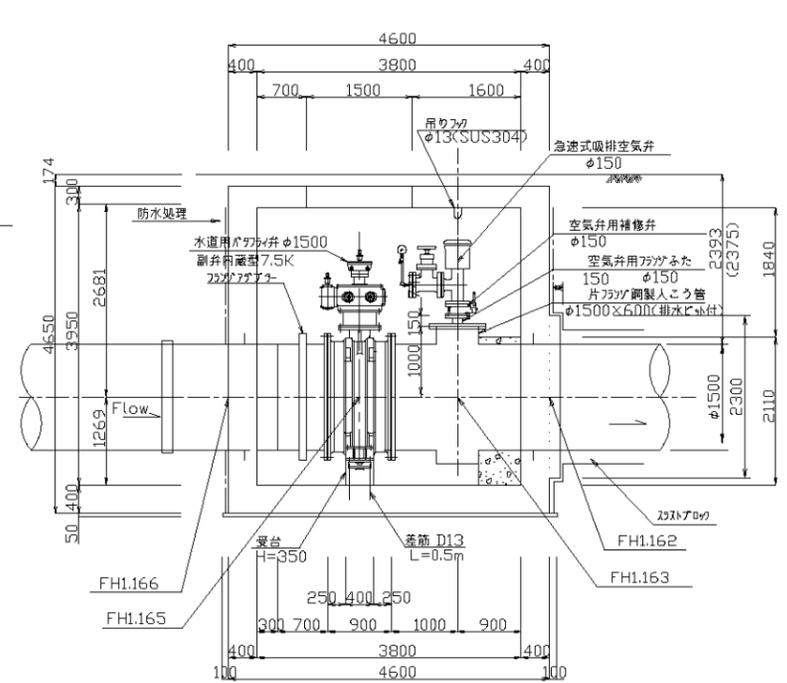
平面図



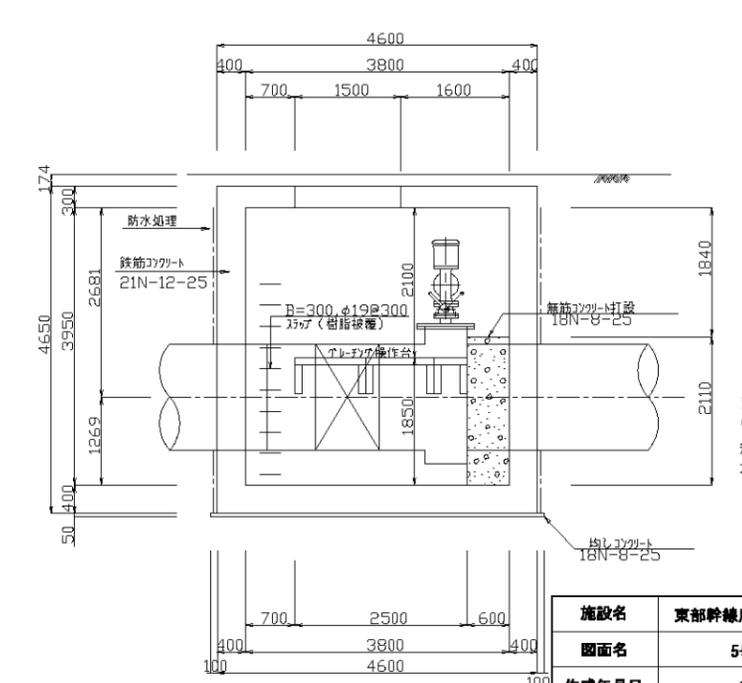
A-A断面図



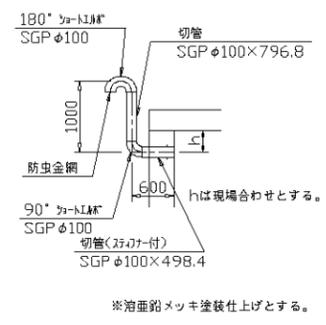
B-B断面図



C-C断面図



空気抜き詳細図



注1) 案内の数値はFRPM外径 (Dc=1560)での土被り寸法。  
注2) 弁芯部の詳細寸法は 弁芯部の構造図を参照の事。

※転落防止用の支柱部については、溶融亜鉛メッキ塗装仕上げとする。

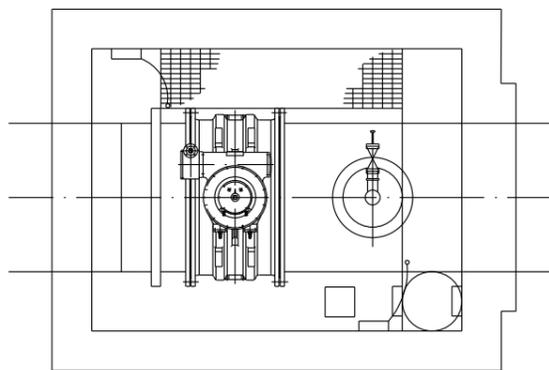
施設名	東部幹線用水路(0312100-1100-03)
図面名	5号制水弁工構造図
作成年月日	平成25年3月25日
縮尺	図示 図面番号 8-36/149
作成者	関東農政局 両総農業水利事業所

制水弁番号	5号制水弁工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35° 32' 22.60"
			関連事業名		経度	140° 23' 16.70"
国営 受益面積 (ha)	水田	2,740 (2,050)	国営 計画流量 (m <sup>3</sup> /S)	計	最大流量	施設容量
	畑	1,440 (1,010)			計	3.44m <sup>3</sup> /S
	計	4,180 (3,060)			制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
					国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

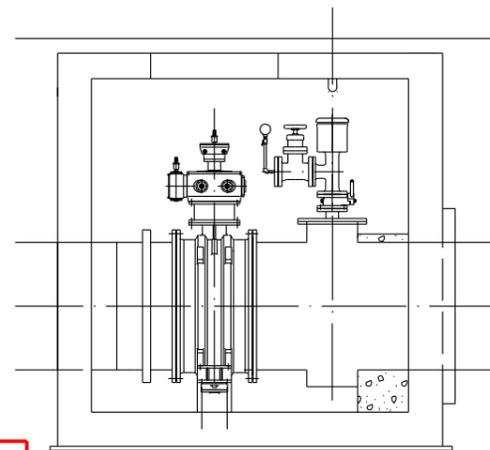
概要 受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段( )は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道4093号線が県道東金豊海線へ突き当たる手前の市道4093号線下に設置された地下埋設施設である。市道脇の通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。

平面図



縦断面図



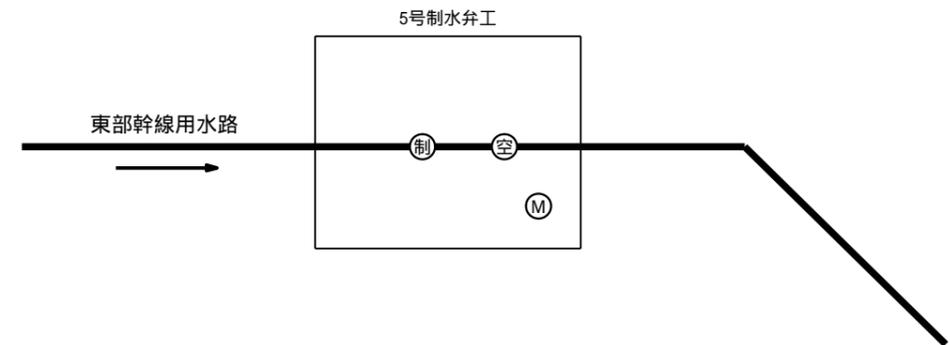
弁室人孔(マンホール)  
5号制水弁工の制水弁(主弁)はこのマンホールの弁室内で手動操作。  
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号	5号制水弁工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35° 32' 22.60"
			関連事業名		経度	140° 23' 16.70"

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊙
マンホール(人孔)	Ⓜ

【制水弁について】  
5号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。  
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。